

スタートアップ育成に向けた政府の取り組み

スタートアップの力で 社会課題解決と経済成長を加速する

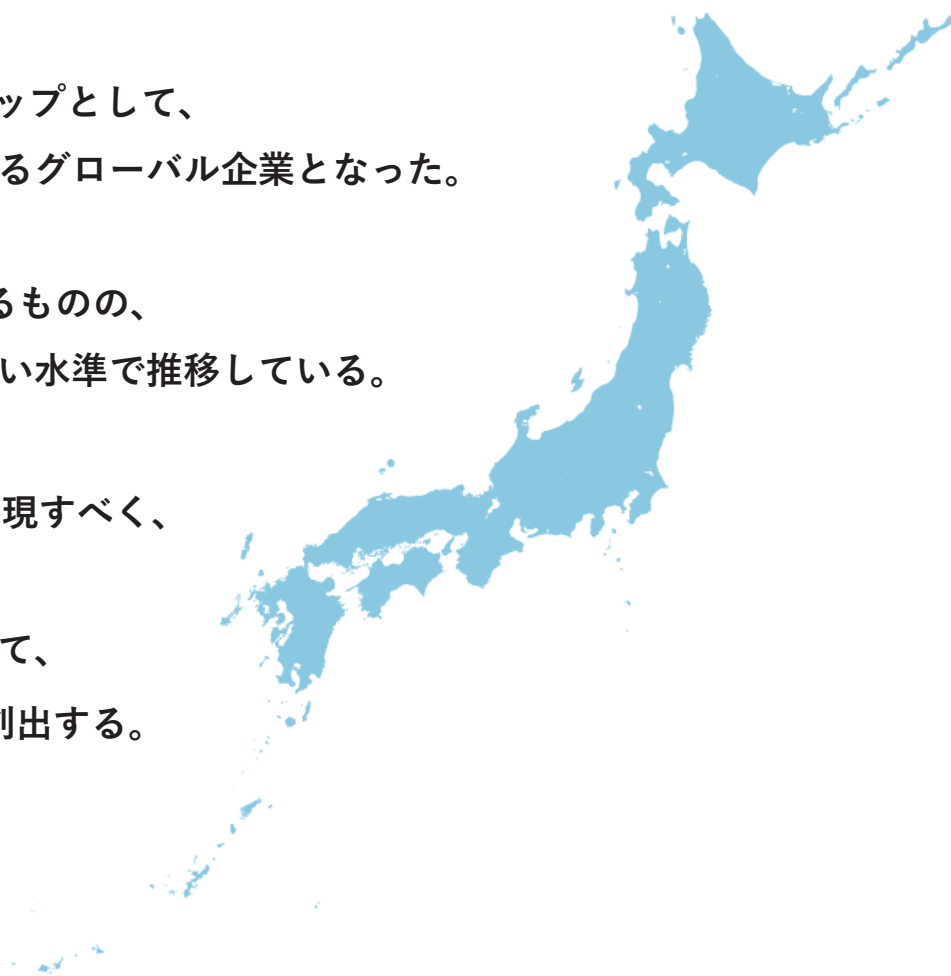
2023年8月

スタートアップこそ、 課題解決と経済成長を担うキープレイヤーである。

我が国を代表する電機メーカーや自動車メーカーも、戦後直後に、20代、30代の若者が創業したスタートアップとして、その歴史をスタートさせ、その後、日本経済をけん引するグローバル企業となった。

しかし、2023年現在、多様な挑戦者は生まれてきているものの、開業率やユニコーン企業数は、米国や欧州に比べ、低い水準で推移している。

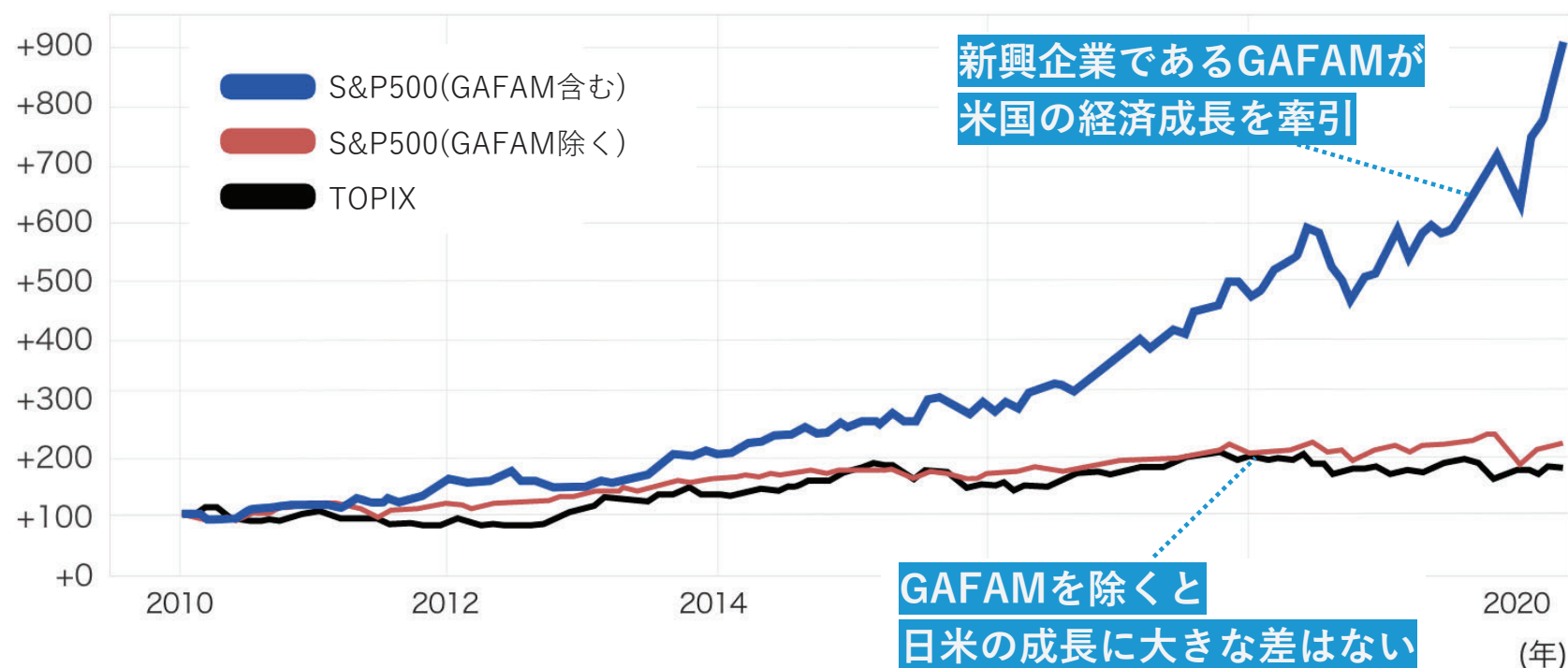
そこで、戦後の創業期に次ぐ、**第二の創業ブーム**を実現すべく、スタートアップの起業や規模拡大・成長の加速、既存大企業によるオープンイノベーションの推進を通じて、日本に**スタートアップを生き育むエコシステム**を創出する。



イノベーションを創出し、大きく成長するスタートアップは経済成長のドライバーとなる存在。

■ 日本（TOPIX）と米国（S&P）における直近10年間の株式市場のパフォーマンスの推移*

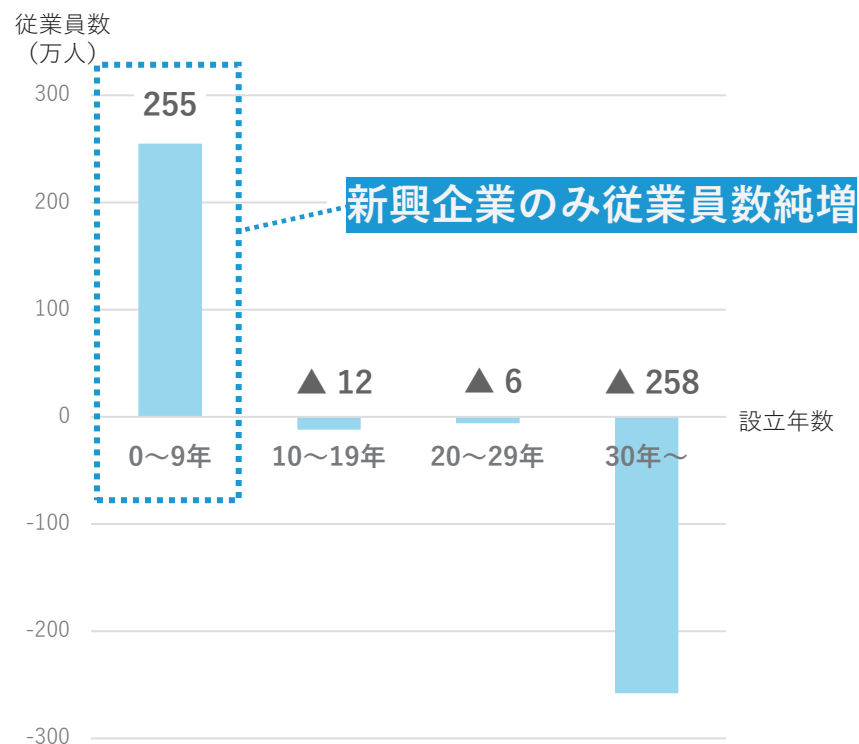
(騰落率,%)



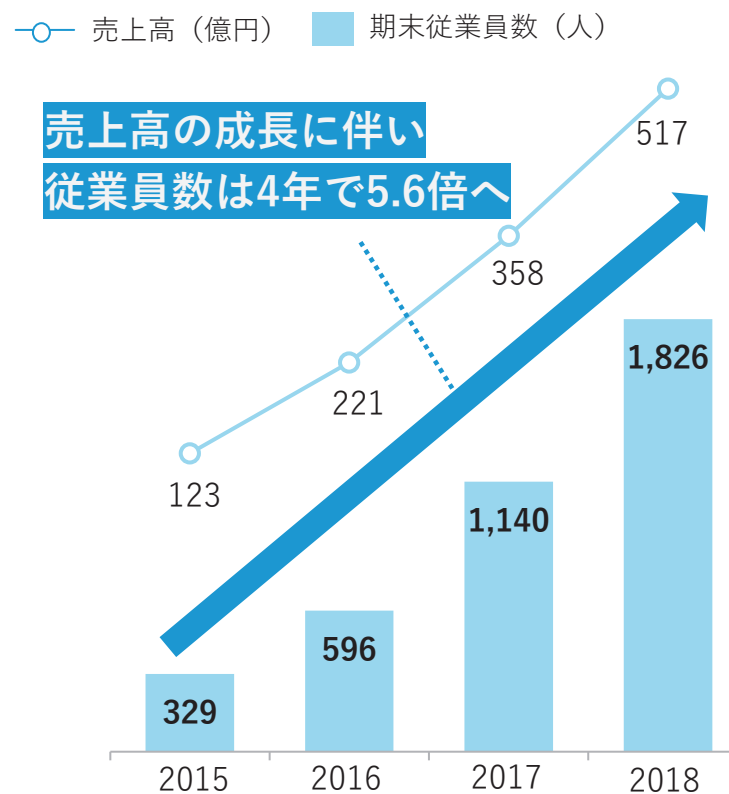
*2010年1月の各終値を100とおいた場合の騰落率。休場日は前営業日の終値をプロットしている。
(出所) S&P500指数、GAFAM時価総額推移、日経平均株価指数データをもとにオコスモ作成

スタートアップは、雇用創出にも大きな役割を果たしている。

■ 日本企業の設立後年数別従業者数の純増減*



■ ユニコーン企業の売上高と従業員数の推移例



出典：中小企業庁「2018年版 中小企業白書」

資料：総務省「平成21年、26年経済センサス—基礎調査」再編加工

出典：SPEEDA（株式会社メルカリ）

(注) 2009年→2014年での比較。経済センサスにおける事業所開設期間とは、会社や企業の創業時期ではなく、当該事業所が現在の場所で事業を始めた時期をいう。ここでの設立年は、経済センサスの調査対象事業者の事業所のうち、最も古い事業所の開設時期を企業の設立年とみなして集計している。

機動性の高いスタートアップ企業は、 新たな社会課題に対するソリューションを提供する主体。

■ スタートアップによる社会課題解決の事例

新型コロナワクチンの開発



海外ではビオンテック（独：2008年設立）やモデルナ（米：2010年設立）などのスタートアップ企業が、新型コロナワクチンをいち早く開発・実用化。

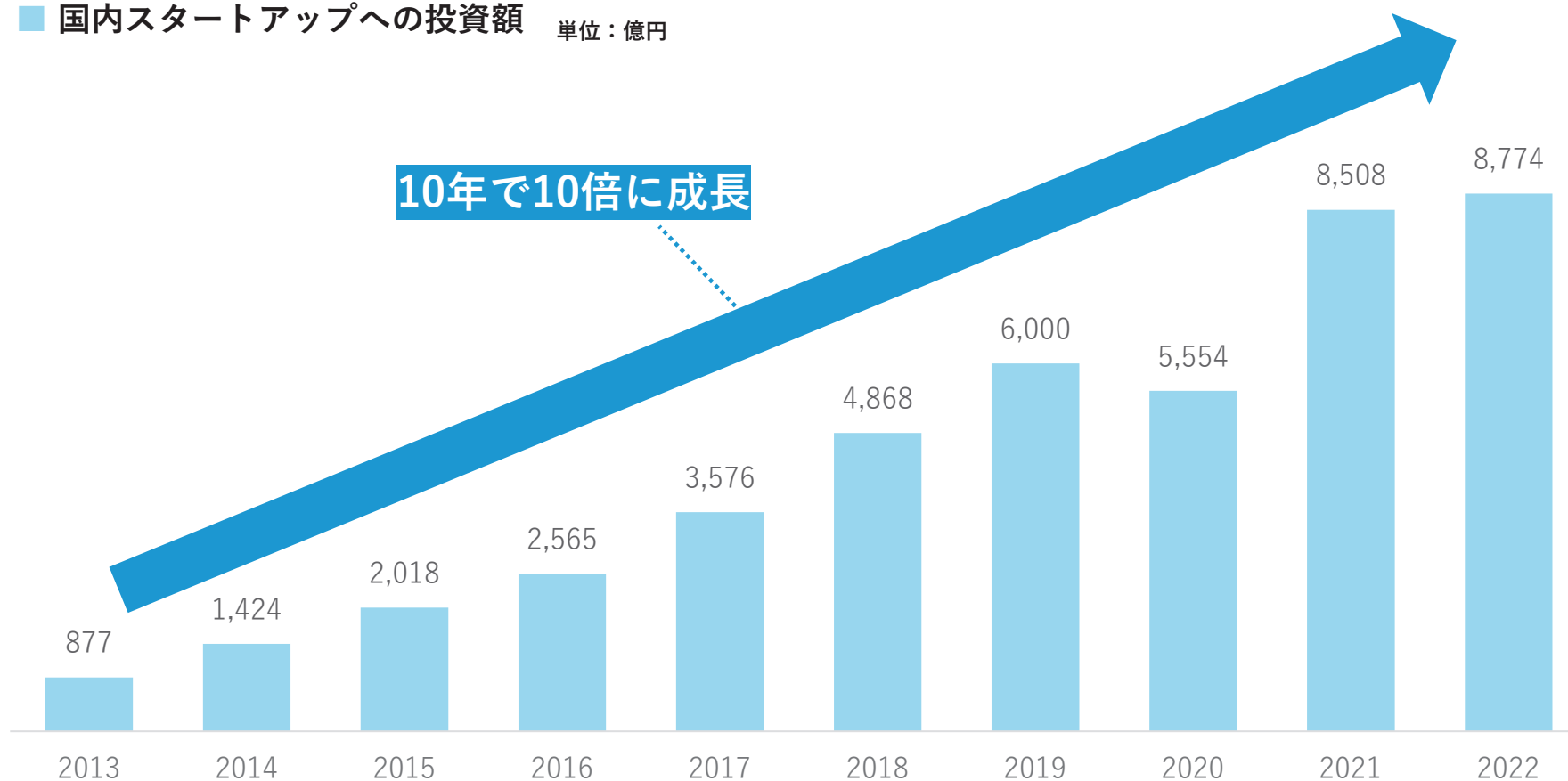
自然エネルギー発電施設の開発



自然電力株式会社（2011年設立）は、環境・エネルギー問題の課題解決のために太陽光・風力・小水力などの自然エネルギー発電所の設置・運営に携わる。

スタートアップを取り巻く環境は徐々に向上しているが、さらなる支援強化が必要。

■ 国内スタートアップへの投資額 単位：億円



出所) INITIAL 「Japan Startup Finance」

2022年を「スタートアップ創出元年」とし、各種政策を推進。

2022年1月



岸田首相の年頭記者会見にて
「**スタートアップ創出元年**」を宣言

スタートアップを生み育む エコシステムの構築へ

6月

2023年6月、政府における骨太の方針において、
「スタートアップの推進と新たな産業構造への転換」
が**引き続き重点分野**に

令和5年度税制改正の大綱が閣議決定
スタートアップ・エコシステムの抜本強化に向けて
7つの税制を改正

12月

令和4年度第2次補正予算にてスタートアップ支援の施策が
過去最高規模の約1兆円規模で計上

11月

「**スタートアップ育成5か年計画**」を発表

6月

政府における骨太の方針において
「スタートアップへの投資」が、**重点投資分野**の柱の1つに

官民によるスタートアップ育成策の全体像をまとめ、
人材、資金、ビジネス環境などの様々な支援展開を発表。

スタートアップへの
投資額を
5年で10倍に



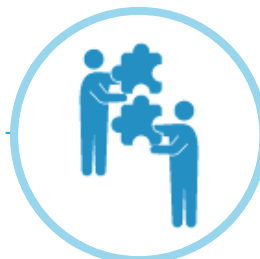
人材・ネットワークの構築

スタートアップで最も大切なのは人。
スタートアップの担い手を育成し、起業を加速。



資金供給の強化 と 出口戦略の多様化

スタートアップが大きく成長するのに必要な資金。
ベンチャーキャピタルや個人からの投資を拡大。



オープンイノベーションの推進

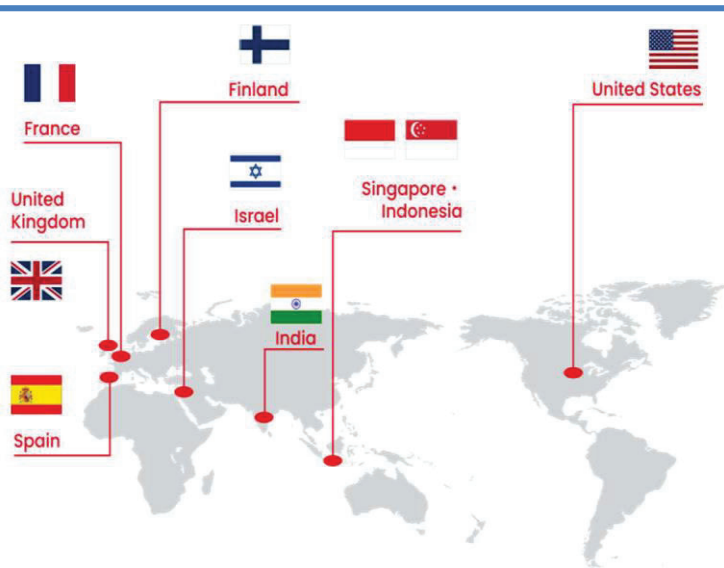
エグジットとしてM&Aを増やすなど
大企業とスタートアップとの
オープンイノベーションを推進。

起業家等の海外派遣事業「J-StarX」

令和4年度「海外における起業家等育成プログラムの実施・拠点の創設事業」の内数（約66億円）

- 「J-StarX」とは、我が国のイノベーション人材の育成及び海外のイノベーション拠点・人材とのネットワークの構築を目的に、若手起業家や学生等を欧米やアジアを中心とする世界各地のスタートアップ・エコシステムに派遣する事業。これまでの「始動」を抜本的に拡充し、今後5年間で1,000人の海外派遣を目指す。
- 原則として、書類選考の後に国内プログラムを実施し、更なる選考の後に海外派遣される仕組みとしている。

主要派遣先



主要コース（今後も追加予定）

派遣都市	開始月	コース概要	進捗
ロンドン	6月	London Tech Week挑戦	派遣済
シリコンバレー	7月	始動アルムナイプログラム	派遣済
	9月	技術系学生特化型	募集中
	10月	地域起業家特化型	募集中
	来年1月	女性起業家特化型	募集中
サンディエゴ	9月	ライフサイエンス領域特化型	派遣者選考中
サンフランシスコ	10月	社会起業家特化型	募集中
ボストン	9月	ロボティクス・クリーン特化型	派遣者選考中
	9月	Mass Challenge連携プログラム	派遣者選考中
	来年1月	女性起業家特化型	募集中
パリ	10月	Station F 入居型	派遣者選考中
テルアビブ	10月	現地VCによるメンタリング等	派遣者選考中
シンガポール・インドネシア	10月	現地アクセラ企業によるメンタリング、現地VCとのピッチ等	派遣者選考中
ヘルシンキ	11月	Slush挑戦・大学訪問（学生特化）	募集中
ワシントンD.C.	来年1月	女性起業家特化型	募集中



MOMENT 2023

Oct.10-11 2023

A place to meet, talk and co-create the future with the global leading venture capitalists and startups

Organized by METI

グローバルイノベーションイベント | MOMENT 2023

日本政府は、2022年に発表した「スタートアップ育成5か年計画」を通じて、スタートアップ・エコシステムの強化を目指している。その成功の鍵となるのは、**先端的なスタートアップ・エコシステムのグローバルリーダーから学び、出会い、つながること**である。

本イベントでは、イノベーションに意欲のある日本のベンチャー投資家、スタートアップ、大企業、学生に、**世界でもトップティアのベンチャーキャピタリストやスタートアップとの交流**を通じて、グローバルレベルの視座と新たな「気づき」や「学び」を得る機会を提供する。同時に、世界をリードするベンチャーキャピタリストが日本のスタートアップ・エコシステムへの理解を深めることで、日本への投資の活性化につなげ、スタートアップ・エコシステムをグローバルレベルへと拡大することを目指して開催する。

日程 2023/10/10(Day1)-10/11(Day2)

会場 虎ノ門ヒルズフォーラム (オフライン・オンラインハイブリッド開催)

パートナー Day1 : World Innovation Lab (WiL) / Day2 : MPower Partners and Andreessen Horowitz (a16z)

主な対象 イノベーションに意欲のある日本のスタートアップ、ベンチャーキャピタリスト、大企業、学生

応募方法 右記QRよりご応募ください (参加費無料/オフライン参加は抽選式)

コンタクト J-StarX 運営事務局 : J-StarX@tohmatu.co.jp



Pickup Speaker

Day1 & Day2



Ben Horowitz
a16z
Cofounder &
General Partner

Day1



Jeff Wang
Sequoia Capital
Global Equities
Managing Partner



Shinichi Takamiya
Globis Capital Partners
Managing Partner

Day2



Julie Yoo
a16z
General Partner

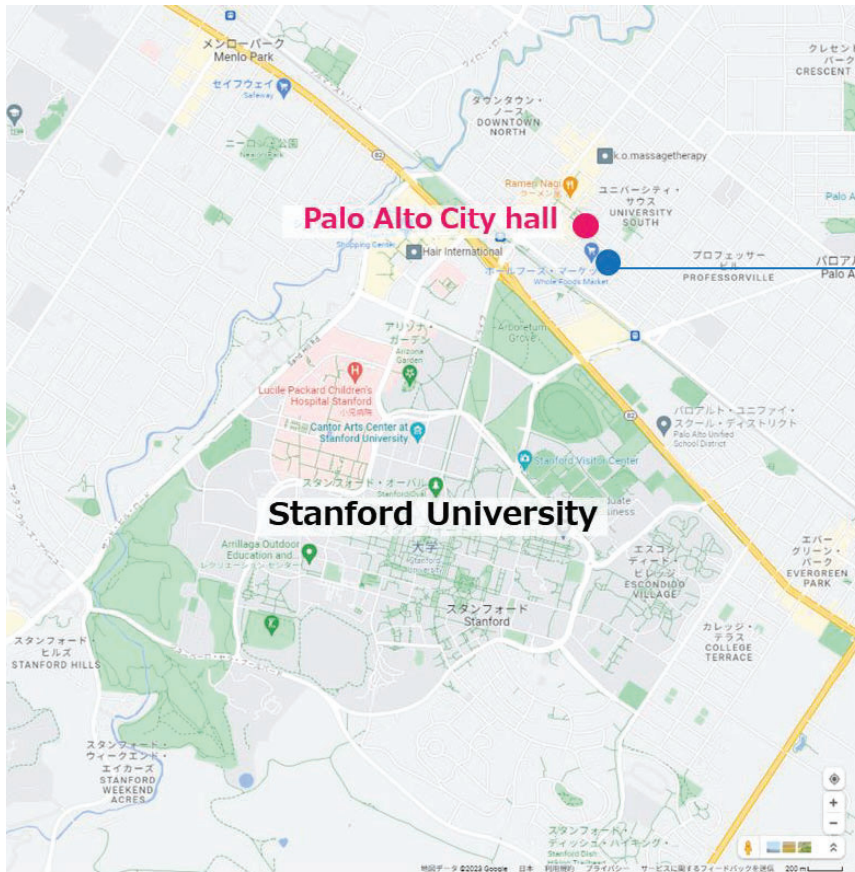


Martin Casado
a16z
General Partner

シリコンバレー拠点形成

令和4年度「海外における起業家等育成プログラムの実施・拠点の創設事業」の内数（約7億円）

日本のスタートアップの米国における資金調達や事業展開、日本の企業と米国のスタートアップ・VCとの連携等を支援する拠点（いわゆる「出島」）の整備を進めている。



(引用元：Google)



「01 Expert Pitch」

「経済産業省が進めるスタートアップ支援 ーシリコンバレービジネス拠点の開設ー」



仮称) シリコンバレーセンター ご紹介

2023年8月

受託者 森ビル株式会社

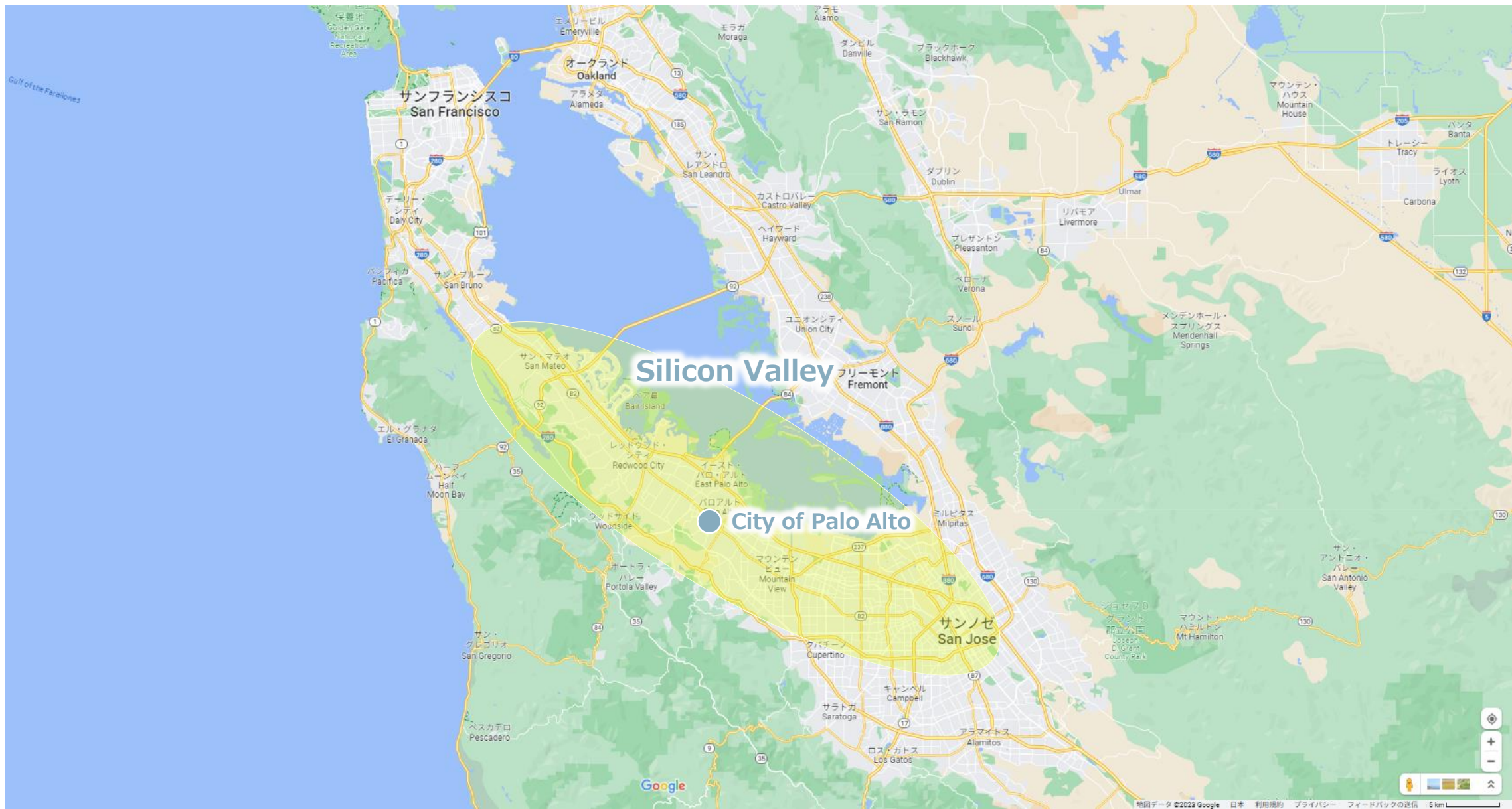
明石 礼代

森ビル株式会社 営業推進部 オフィス事業部 企画推進部

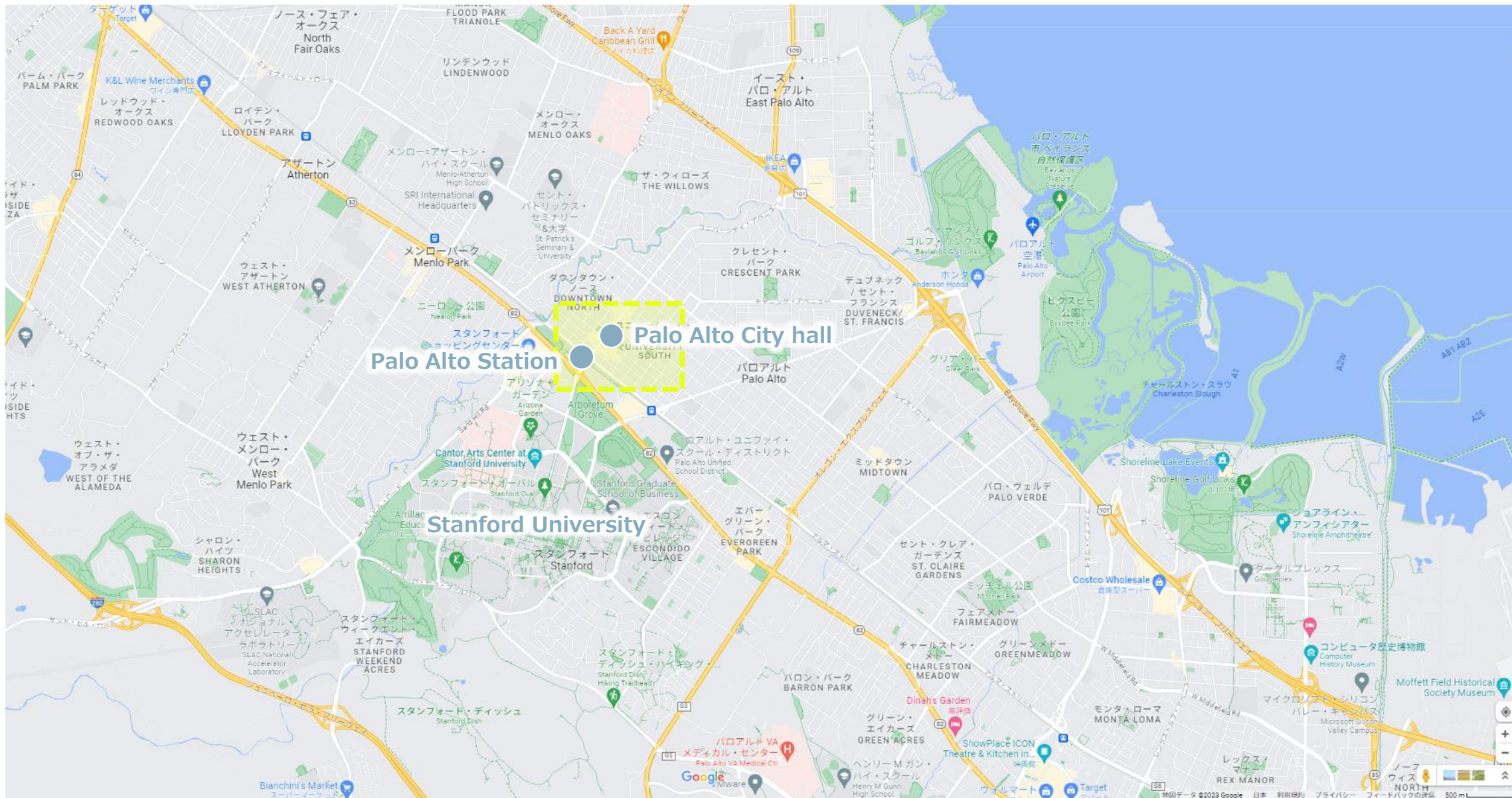
森ビル株式会社入社以来、調査企画部門、メディア企画部門などを経て、都市開発のコンサル業務に従事。
日本国内や台湾などで街づくり、公共施設や観光施設の計画・運営管理などを推進。

その後、ARCH Toranomom Incubation Centerを統括・運営するオフィス事業部門内の企画推進部にて
麻布台ヒルズ内に設置する「Tokyo Venture Capital Hub」(2023年秋開業)の企画を担当。

経済産業省「海外における起業家等育成プログラムの実施・拠点の創設事業」の受託に伴い、施設開業に向けて推進中。



引用元 : Google



引用元 : Google







Varsity Theatre

Hanahaus

H

Hanahaus
INSPIRING WORKSPACE
UNLIMITED POSSIBILITIES
BOOK AT HANAHAUS.COM



sushimito

Oz Malley
OPEN NOW

OPEN









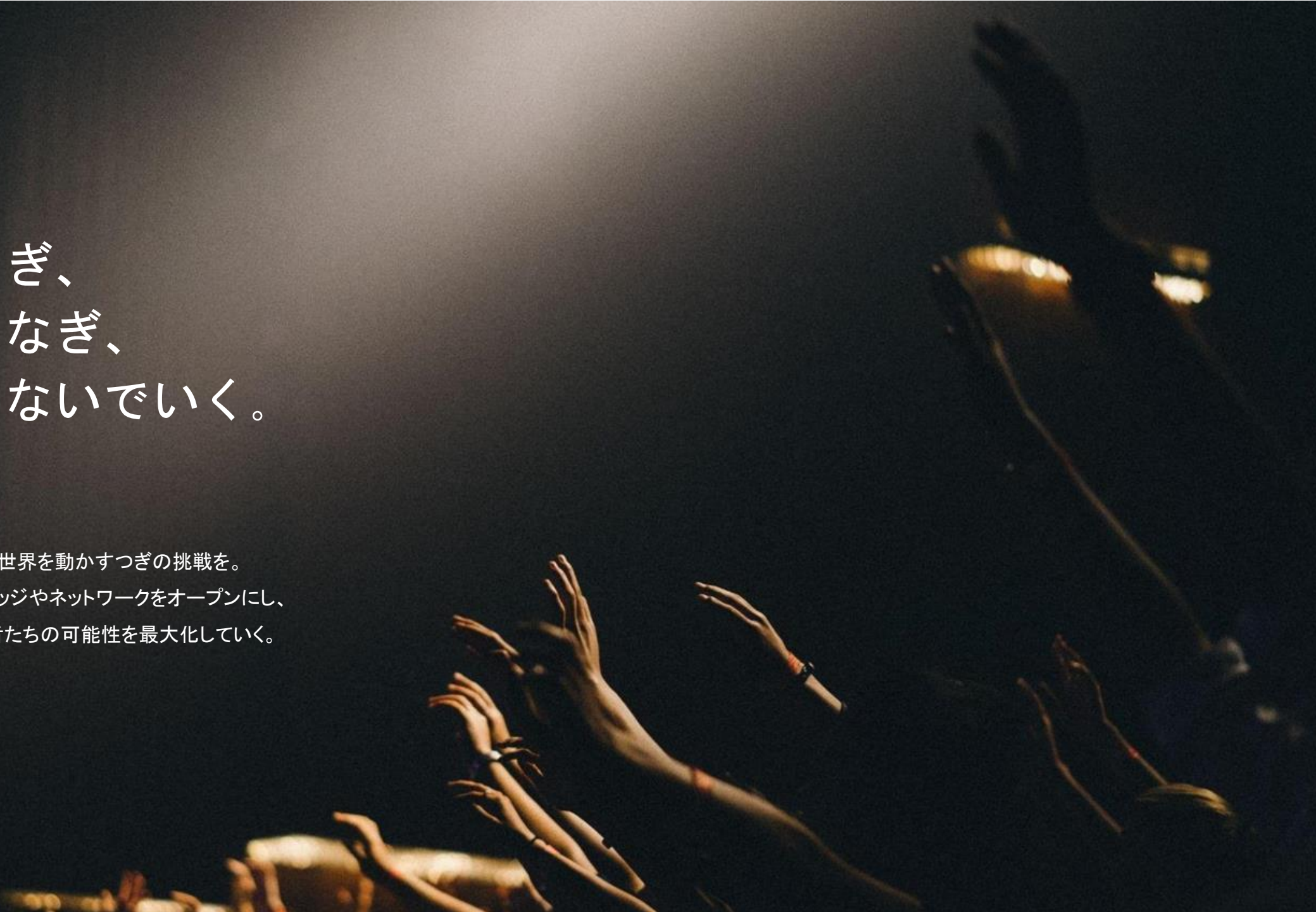
This is not space but community.

単なるスペースではなく、
人と情報が集まり繋がるコミュニティ。



人をつなぎ、
知恵をつなぎ、
挑戦をつないでいく。

みんなの知恵を力に、世界を動かすつぎの挑戦を。
先人が培ってきたナレッジやネットワークをオープンにし、
日本・アメリカの挑戦者たちの可能性を最大化していく。



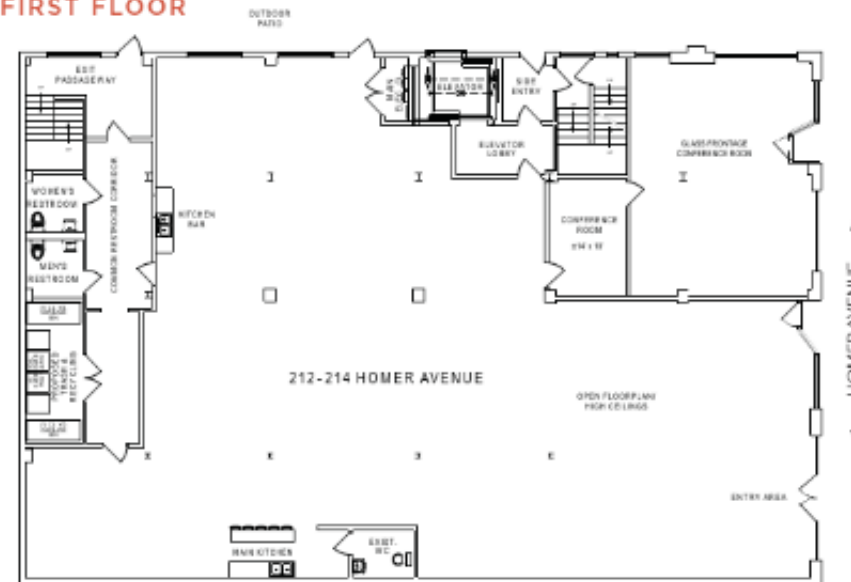


オフィス
(個室)

コワーキング
スペース

イベント
オープンスペース

FIRST FLOOR



SECOND FLOOR



SPACE

仕事の拠点としての
ワークスペースを提供する



DIGITAL

メンバーが繋がりが続けられる場として
デジタル上にコミュニティを形成する



EVENT

新たな情報や人との
偶発的な出会いを生み出すイベント
を行う/誘致する



BUSINESS SUPPORT

抱える課題に合わせて
適切なビジネスパートナーを紹介する



LIFE SUPPORT

生活を送る上で
必要なサポーターを紹介する



INDUSTRY

業界特化型

概要:

日本の強みとシリコンバレーの強みが
交わる業界にフォーカルしたイベント

例:

Bio-Tech、AI、Space

MINDSET

思考や考えの共有

概要:

スタートアップの共通の価値観を共有
しあうイベント

例:

Fail fast night
(失敗の共有に焦点を当てたイベント)

CAPABILITY

職種特化型

概要:

特定の職種に特化したナレッジ共有や
ネットワーキングを行うイベント

例:

Co-Founders, PM, Designers

JAPAN CULTURE

日本アセットの共有

概要:

日本カルチャーを活用し集客を行うイ
ベント

例:

Japan Whiskey Manga, Anime,
日本の企業やVC等との連携

9月上旬 入居者の応募を開始（経済産業省ホームページにて 情報公開）

年内 本格的なオープンを予定

※ オープン前に、プレイベントも予定

ありがとうございました